

30. プレゼンテーション

生活科や総合的な学習では、直接体験する活動を重視し、その活動において得た発見や驚き、気付き、そして情報などを表現する活動を大切にします。

表現する活動には、伝える相手が存在します。新聞などに書く活動、報告会などで発表する活動、いずれも見たり聞いたりしてくれる相手がいます。

最近、報告会で発表するような活動をプレゼンテーションと呼ぶようになってきています。

プレゼンテーション

プレゼンテーション(presentation)とは、広告会社が広告主に対して行う説明行為をさしていた。それが一般化し、ある人が他の人々に、自分の意見、意志、学説あるいは商品などについて、口頭や機器を用いて説明して、説得、売り込みをはかる行為をさすようになった。

生活科や総合的な学習では、「発表すること」をさすと考えられる。

プレゼンテーションには、基本的に「プレゼント」＝「贈り物や贈呈」の意味がある。つまり、相手が喜ぶようなことをするという考え方がある。

○生活科や総合的な学習において、報告会や発表会をする活動で大切にしたいこと

- ・発表する側は、相手（聞く側）が喜ぶように工夫したり、分かりやすいように考えたりすること
- ・子供の発達段階や発表経験を考慮すること

低学年の子供は、発表することだけで精一杯かもしれない。また、発表する回数が増えていくと、相手のことを意識していくことができるようになっていく。

- ・発表する側が、相手（聞く側）から、発表の内容や発表の仕方などについて評価される場があること
- 認められたり、褒められたりすることによって、次の活動への意欲をもつ。